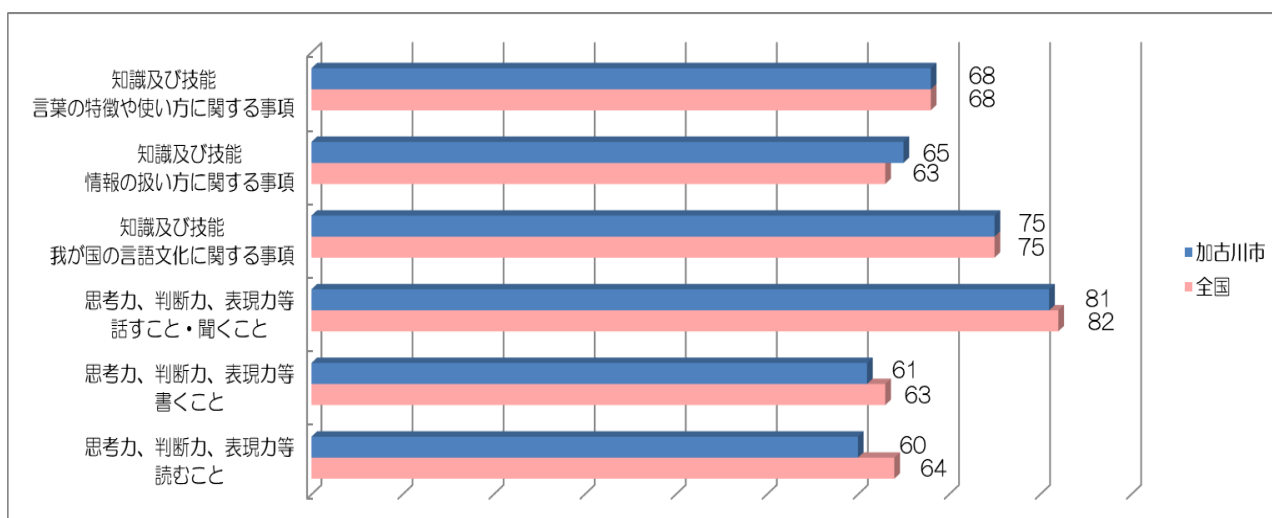


令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要（加古川市）

<中学校 国語>

全国平均とほぼ同程度でしたが、特に、二つの文章を比較し共通する表現の効果について考える問題や、文章を読んで理解したことについて、自分のもっている知識や経験にふれながら書く問題、また、自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書く問題において課題が見られました。今後も、文章の構成や展開や表現の効果について根拠を明確にして考えることや、文章を読んで理解したことを既有的知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする思考力、判断力、表現力等の育成に向けた取組を進めていくことが大切です。

領域別調査結果（中・国語）



○ 加古川市の生徒が比較的解答できていている問題

問題番号	問題の内容
1 二	インターネットの記事を読み、意見と根拠など情報と情報との関係について適切なものを選択する。（情報の扱い方に関する事項）
2 一	事象や行為、心情を表す語句「落胆する」の意味について理解し、適切なものを選択する。（言葉の特徴や使い方に関する事項）
4 一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）。（我が国の言語文化に関する事項）

○ 加古川市の生徒がやや苦手としている問題

問題番号	問題の内容
2 四	自分がこれからどのように本を読みたいかについて、読んだ文章を参考にして、自分の有する知識や経験にふれながら書く。（読むこと）
3 四	「判じ絵」についてまとめているレポートの『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に、具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方の説明を書く。（書くこと）
4 三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較しながら書く。（読むこと）